

【再考】松風独自の調査結果に基づいてその原因と回避方法を探る 「グルーの白化」を避ける方法とは

検証に至った背景

室内外の湿気が多く温度が高い時期に特に気になるグルーの白化について、どうすれば回避できるのか？
松風に多く寄せられるこの現象の原因を探り、より完成度の高いまつげエクステの実現を目指します。

白化現象について

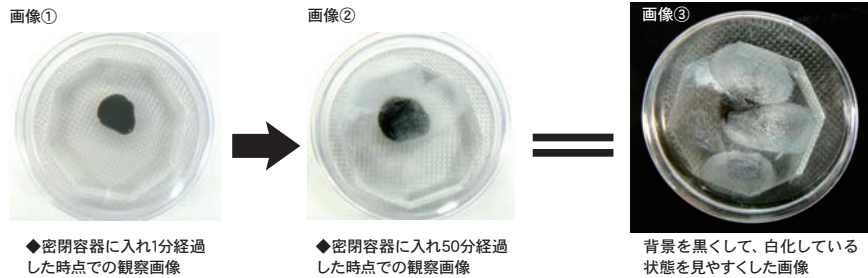
【基本的な知識を共有すること】

まつげエクステ用グルーの主成分であるシアノアクリレートが、液体から固体になる段階で発生する白い物質は蒸気（シアノアクリレートポリマー）と呼ばれ、まつげエクステの装着表面に付着すると肉眼でも確認できます。原因は多々考えられますが、とくに梅雨や夏場の室内外の湿気が多く温度が高い時期の発生が多くみられます。また、施術後数時間以内に洗顔や入浴をしたという場合にも多くみられる現象ですので、顧客にはしっかり説明することで回避できることが多いと考えられます。白化の出現頻度は、グルーの種類によって違いはありますが、安い価格のグルーは出やすい、高いグルーは出にくいというような違いはありません。

白化（蒸気）を確認

【シンプルな実験をしてみる】

この実験では、透明の容器の中にグルーを適量つけたプレートを入れ密閉し、容器のフタ部分とプレートの一部に指紋をつけておき、その指紋部分に浮き上がる白化を確認します。
※たんぱく質を含む指紋部分に白化の原因となる蒸気が付着しているのがわかります。

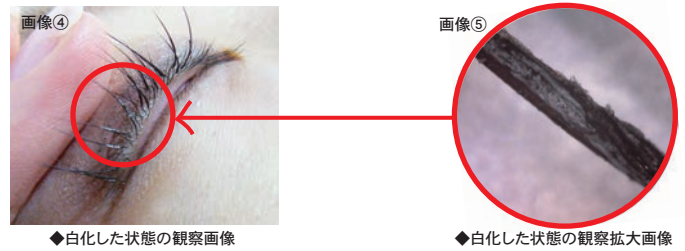


たくさんある白化の原因

【白化する原因と考えられること】（松風の調査データに基づきます）

- ①前処理を適切に施していない。前処理後に指で触った。
- ②リムーバー、クレンジング、前処理化粧水が残っている。
- ③お客様が施術中に汗（涙）を流している。
- ④施術後数時間で「洗顔・入浴・プール」で水分を与えた。
- ⑤ブロー乾燥をしっかりとしていない。

※グルー（とくに粘度の高いもの）のつけ過ぎ、且つ、ブローでしっかりと乾かしていない「グルー表面はしっかりと乾いているが内面が乾くの間に時間を要している」場合、内面が固まるまでに時間を要するため、上記①～⑤の原因が顕著になり、表面が白くなるものと考えられます。



白くならないようにするための対策

【回避するための方法】

- ・施術前に前処理化粧水でお客様のまつげを清潔にし、しっかり乾かす。
- ・グルーはつけすぎない。
（特に粘度の強いグルーでたくさん装着する際は注意）
- ・ブロー乾燥は必ず施す。
（梅雨、夏季はとくにしっかりと乾燥させる）
- ・装着後に指でまつげをさわらない。
（顧客にも数時間はさわらないように説明）
- ・持続力低下にもなるので通常2時間前後は洗顔や入浴は避ける。（※松風のグルーの場合）
- ・コーティング剤でのホームケアをお勧めする。

※つまり、グルーの硬化時に必要以上の水分がグルーに接することにより白化するため、それを避ける必要があるということです。

白くなってしまった場合

【対策方法】

白くなった場合はコーティングを塗布すると緩和されます。また、まつげエクステ専用マスカラなども有効です。

※白くなった部分をこすって落としてはいけません。白化物質が目に入る危険があります。
※市販の家庭用接着剤向け白化防止用のプライマーなどは用途が違いますので絶対に使ってはいけません。



◆商品コード：16017
スーパープロテクトコーティング・ブラック



◆商品コード：16019
松風コーティングエッセンス



◆商品コード：16276
まつげエクステ専用マスカラ・クリア



◆商品コード：16078
まつげエクステ専用マスカラ・ブラック

補足：編集後記

湿気が多すぎてグルーの表面が内面より先に急速に硬化した場合など、グルーが理想的に硬化できなかった場合に起こりやすい現象です。とくに湿度の高い時期に起こりやすいため水分や湿気対策を怠ったときに発生しがちです。持続力低下やかゆみの原因となることがあるので、とくに夏季は湿度温度コントロールを怠ってはいけません。